

『沖縄北部ダムツーリズム』の推進

～水源地域の活性化にむけて～

表-1 【各ダムにおけるダムツーリズムのメニュー】

ダム名	主要テーマ	沖縄北部ダムツーリズム		地域圏域の主なメニュー
		ダム管理施設メニュー	NPO等が実施するメニュー	
漢那	ダム施設見学 環境学習	①ダム堤体の見学（景観設計） ②ダム内部の見学 ③本ダム右岸の魚道見学 ④本ダム下流のマングロープ生態系 ⑤貯水池上流に隣接する第二貯水池（自然観察広場）		・道の駅ぎのざ ・かんぱくゴルフ ・宜野座村立博物館 ・松田鍾乳洞 ・宜野座村の体験ダイビング
羽地	小学生の社会見学	⑥ダム資料館（沖縄の水資源他（小学生向け）） ⑦川遊びと川の生き物観察		・羽地民泊 ・名護城トレッキング
福地	野外活動と学習	⑧ダム資料館（沖縄の水資源（大人向け））	⑪ダム湖での自然観察船（ゴンミキ号）の運航（東村ふるさと振興株式会社が運航） ⑫ダム湖でのカヌー体験（東村ふるさと振興株式会社が実施）	・山と水の生活博物館 ・村民の森つじエコパーク ・沖縄やんばる海水揚水発電所 ・慶佐次湾のヒルギ林マングロープツアー＆遊歩道散策 ・半日・一日農業体験 ・東村シュノーケルツアー
大保		⑨ダム資料館（環境保全対策）	⑬ふながや湖カヌー体験&大保川清流トレッキング ⑭森と水辺のノルディックウォーキング ⑮森と水辺のサイクリング（以上、おおきまるとこツーリズム協会が実施）	・ター滝トレッキング ・道の駅大宜味
金武		⑩ダム資料館（億首ダム事業）		・ネイチャーみらい館 ・億首川マングロープカヌー体験
安波	野外活動		⑯亜熱帯ジャングルカヌーと川遊び（国頭ツーリズム協会が実施）	・やんばる学びの森（ツアープログラム、学びのゾーン、遊びのゾーン） ・比地大滝トレッキング

ダムツーリズムのメニュー

昨年10月27日に実施された、日本旅行協会沖縄県支部との現地視察会をきっかけに本年1月から3月にかけて、漢那ダムにおいて、県内初となるダム見学を取り込んだ民間ツアーが実施されました。

沖縄総合事務局では、ダムやダム湖を活用した観光、エコツーリズムなどを



取り組み例
漢那ダム第二貯水池における自然観察



安波ダム湖面における亜熱帯ジャングルカヌー

の水源地域の魅力ある活動を「沖縄北部ダムツーリズム」として捉え、活動の積極的な展開を図っています。

その一環として、漢那ダムでは「ダム施設見学と環境学習」、羽地ダムでは「小学生の社会見学」など、福地ダム・大保ダム・金武ダム・安波ダム、個々に主要テーマを設定し、管理施設を利用したメニュー及びダム湖面等ダムエリア内でのNPO等が実施するメニューを「沖縄北部ダムツーリズム」として整理・明確化し、公表しました。（表-1）

ダム施設を観光資源としてダム管理施設メニューとNPO等が実施する野外活動と組み合わせるツアー等、目的に応じて様々な使い方が可能です。

バスツアー

平成27年1月17日に漢那ダム見学を取り込んだ民間バスツアーが初めて実施されました。漢那ダムでは本ダム堤体で城壁をイメージした景観設計や環境保全対策として整備した魚道、普段は見られないダム堤体内部といった施設について視察等を行ったあとダム下流でのマングロープ等の環境保全対策の説明を職員自ら行い、大変好評でした。

今回1月～3月のバスツアーでは、

漢那ダム施設見学の実施状況

※ダム管理職員による説明対応

漢那ダム全景
①→②→③の
順序で見学



②ダム堤体内
（監査廊）
ダム堤体内部
の観測設備の
説明

①ダム天端
漢那ダム全体
概要・景観設計・
環境保全等
の説明



③ダム下流
ダム下流から
の景観・マン
グロープ生態
系の観測

総数約300名程の参加者があり、4月以降においても漢那ダムを取り込んだ民間バスツアーが予定されています。今回のバスツアーの対応は、ダム管理者としても初めての試みですが引き続き、ダムの魅力を発信し、水源地域の活性化や水への関心を高めると同時に沖縄県の観光客1000万人構想の一助になるべく、関係機関とともに「沖縄北部ダムツーリズム」を推進して行きます。